八　鎌倉期の夜久野城

夜久野城は一説によると寛喜年間(一二二九-三二)佐々木左衛門が居城したとされ、平林山教蓮寺（夜久野副谷・開基は鎌倉時代：弘長二年一二六二）縁起には城主**佐々木半左衛門丞信高**が親鸞聖人 に帰依していたが夜半：攻撃を受け副谷に落ち延びて住んだとも。山名氏が攻め、持ち城としたのかともいわれる。南北朝期：建武三年(一三三六)にも、但馬南朝方に足利軍が攻め入った時にも此処が合戦場の一つとなっている。

夜久野城本郭から
南端曲輪を見る